

府中市美術館常設展特集

府中市平和都市宣言 30 周年記念事業

燃える東京・多摩

画家・新海覚雄の軌跡

SHINKAI KAKUO: A Trace of the Painter

たたかうヒューマニズム—平和と労働への賛歌

開催概要

会期 2016 年 7/16(土)~9/11(日)

休館日 月曜日(7/18をのぞく)、7/19(火)

時間 10:00~17:00(入場は16:30まで)

会場 府中市美術館 常設展示室

主催 府中市美術館 Fuchu Art Museum

観覧料 一般 200 円(150 円)、高校・大学生 100 円(80 円)、小・中学生 50 円(30 円)

()内は 20 名以上の団体料金/未就学児及び障害者手帳等をお持ちの方は無料/府中市内の小中学生は「学びのパスポート」で無料/70 歳以上の市民の方は無料(住所・年齢が分かるものをご呈示ください)/企画展「とことん!夏のびじゅつ(じ)かん」チケットで観覧できます

開催趣旨

東京・多摩地域で社会運動と結びついて熱く展開された美術の歴史を発掘する企画として、新海覚雄(1904-68)の画業を紹介します。

彫刻家・新海竹太郎の長男として東京・本郷に生まれ、川端画学校で油彩画を学んだ新海覚雄は、太平洋画会、二科会、一水会などで活躍、同時代の風俗や労働者の姿を描き、社会への眼差しを育みました。終戦を迎え美術界の民主化を掲げる日本美術会に参加、戦争に抵抗したドイツの美術家ケーテ・コルヴィッツに影響を受け、ヒューマニズムの立場で現実に生きる人々を描き、戦後のリアリズム美術運動を主導しました。

1950 年代、社会問題に取材し、人々のたたかいを伝えた新海らの表現を、ルポルタージュ絵画と呼びます。1955 年、砂川町(現在の立川市北部)で起きた米軍基地拡張に反対する住民運動を記録した仕事は、ダイナミックな群像表現の起点となりました。盛り上がる世論を背景に基地返還へ至った砂川闘争は、農民、労働者、学生とともに、多くの美術家も支援に参加した文化運動でもあったのです。

新海は、日本労働組合総評議会(総評)傘下の国鉄労働組合など、全国的に高揚する労働運動を、絵筆をとって励まし、当時の国民文化運動を代表する画家となります。1950 年代後半からは、宣伝ポスターと並行して、原水爆を告発するリトグラフにも取り組み、モンタージュ技法をとり入れるなどモダニズムの受容に努めました。日本では数少ない群像の大作に挑戦しましたが、志も道半ばで倒れ、府中の多磨霊園に永眠しました。

戦後社会派を代表する画家として、東京・多摩の平和・労働運動に足跡を残した新海覚雄の知られざる軌跡を、油彩・水彩・素描・版画・ポスターなど約 70 点でたどります。



《構内デモ》1955 年、油彩、国鉄労働組合蔵



左《行動隊長 青木市五郎》1955-56 年、水彩、立川市歴史民俗資料館蔵



右《真の独立を闘いとうろう》1964/68 年、油彩、板橋区立美術館寄託



左《ピエロと踊子》1931 年、油彩、東京都現代美術館蔵



右《老船長》1932 年、油彩、東京国立近代美術館蔵



《町工場》
1951 年頃、
油彩、東京都現代美術館蔵



《ノーモア・ヒロシマ》1961年、リトグラフ、法政大学大原社会問題研究所蔵



《戦争と失業のない日本を!》1960年、ポスター、法政大学大原社会問題研究所蔵

関連イベント

「語る」

○学芸員によるギャラリートーク

7/23(土)、8/7(日)、9/10(土) 14:00～ 常設展示室 解説:武居利史(当館学芸員)、観覧料のみ・予約不要

○アートトーク「アートアクティビズムから見た新海覚雄」

8/27(土) 14:00～ 講座室・常設展示室 ゲスト:狩野愛(アートアクティビズム研究)、司会:武居利史(当館学芸員)、観覧料のみ・予約不要

「楽しむ」

○映画上映・亀井文夫監督「流血の記録・砂川」

8/12(金)～19(金) 10:30 から毎時 30 分に上映(最終は 15:30) 講座室 戦後社会派ドキュメンタリーを代表する映画(56分)、無料・予約不要*8/15(月)は休み



映画「流血の記録・砂川」1957年、日本ドキュメントフィルム

○アートスタジオ・オープンプログラム「好きな人はどんな顔? 肖像画スタンド」

9/3(土) 13:00～16:00(受付は 15:00 まで) 創作室 講師は山口健児(画家)、材料費 100 円・予約不要、未就学児は保護者同伴

「学ぶ」

○講演会「社会的画家・新海覚雄の軌跡」

8/28(日) 14:00～ 講座室 1950～60年代の社会運動とともに歩んだ画家・新海覚雄の仕事を考える、講師:鳥羽耕史(早稲田大学文学学術院教授)、無料・予約不要

○現地探訪会「砂川闘争の現場を歩く」

9/4(日) 13:00～16:00 立川市砂川学習館ほか 案内人:星紀市(砂川を記録する会)・武居利史(当館学芸員)、無料・予約不要(現地集合、雨天決行)



砂川闘争記念碑「平和之礎」
1975年建立、立川市砂川町

同時開催

企画展「とことん!夏のびじゅつ(じ)かん」

常設展「武蔵野の風景」

牛島憲之記念館「牛島憲之の写生旅行」

公開制作 68「谷山恭子」

連絡先・問合せ先

府中市美術館 (担当 武居利史)

TEL.042-336-4856 FAX.042-335-7576

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/fam@mwc.biglobe.ne.jp>

〒183-0001 東京都府中市浅間町 1-3

ハローダイヤル 03-5777-8600